



JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン
発行者 菅野 一位
編集者 教 宣 部
〒105-0021
東京都港区東新橋 2-8-28
TEL(J R) 057-7333
TEL(NTT) 03-6452-9687
ホームページ検索
「J R Eユニオン」

基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

自らを変える!! 明日を創る!! イースト イノベーション

謹賀新年

組織の総力をあげて難局を乗り越え、
私たちの掲げた「会社と共に」の実践から、
会社の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう!

令和四年 元旦



新年のあいさつ

ジェイアール・

イーストユニオン

中央執行委員長

菅野 一位



新年おめでとうござい
ます。組合員の皆さまの
日々の業務へのご精励と
献身的な組合活動に、そし
てご家族の皆さまからの
ご支援とご理解に対し、心
より感謝を申し上げます。
コロナ禍の長期化、深刻
化により、私たちの会社J
R東日本は発足後最悪の

経営危機に陥りました。し
かし、ワクチン接種が進み、
昨年10月以降、ようやくJ
R東日本エリア内でのご
利用も回復傾向にありま
す。しかし、コロナ前の水
準には依然遠く、多額の借
入金等の拡大もあり、本格
復調までは長期戦を覚悟
しなければなりません。

こうした中、中堅層の離
職が一部増加傾向にある
なかで、働き方改革での大
規模な組織体制変更の施
策が提案され、私たちは国
鉄改革に並ぶ大きな転換
期を迎えているといえま
す。まさに労働組合として
の存在感をより高め、企業
内労働組合の本質と責任
において、組合員が一体と
なって安心して働ける職
場を創る必要があります。
本年はこの重要な施策と
併せ、コロナ禍から脱却の
難局を克服して私たちの
会社JR東日本の安定回
復への確かな見通しをつ
け、働く仲間の安心を取り
戻すために責任ある運動
を進める決意です。

まずは、新年にあたり、
イーストユニオンの重要
課題について提起しご換
拶とします。

一つ目は、最優先課題で
ある安全の確立について
です。昨年は、お客様に関
わる重大事故はなかった
ものの重大労災が後を絶
ちません。この間、会社と
の議論の中で現場をより

本年も宜しく

お願い申し上げます

中央本部執行委員一同

執行委員長

菅野 一位

執行副委員長

秋山 順一

国井 道徳

添田 寿男

瀬藤 正樹

事務局長

菅井 正和

執行委員

斉藤 弘昭

小林 徹志

鮫島 毅

特別執行委員

齋藤 勝彦

会計監査

高橋 洋一

菊地 博英

写真 佐藤康浩氏(仙台地本) 御子息 佐藤勇太様



知ることを提起し、本社の中から出て現場において社員の現状を見ることを強く提言してきました。労働組合のチェック機能、提言機能から、最重要課題である「究極の安全」を会社と共に取り組む流れができたと思います。今後も職場からの安全確立に、会社と共に全力をあげることとします。

二つ目は、企業内労働組合としての意義と組織拡大・強化からのジェイアール・イーストユニオンの展望についてです。第1組合として7割を超える社員が加入していた労働組合は崩壊しました。それにより社員会・社友会等が職場を取りまとめ、現場管理者と一緒に職場づくり、仕事づくりを実践してきたように思えますが、実態的にはトップダウンからの一方的な体制下での現場となつてしまつています。5万人を超える社員を有し、日本を代表するトップの鉄道会社が、働く社員側の労働組合を黙殺し、あたかも労働組合が「悪」であったかのような振舞いをするに大きな疑念を抱いています。企業内労働組合としての責務を、「会社と共に」築きあげられなかったことは双方での責任であったと思います。

私たちはイーストユニオンは、国鉄改革以降ずっと

私たちの会社 J R 東日本に当たり前で責任ある企業内労働組合の構築に取り組んできました。日本を代表する鉄道会社「J R 東日本」には、労働組合は絶対に必要であり、社員が「会社と共に」築く労働組合は絶対に必要です。そのため、私たちジェイアール・イーストユニオンが先頭に立って「会社と共に築く企業内労働組合に向けて、組織拡大・強化に精鋭的に取り組まなければなりません」。

J R 東日本を憂いながらも、待望する多くの支援者がいます。私たちイーストユニオンは、その期待にしっかりと応えられるように全力をあげることとします。

最後に、J R 連合は昨年6月に「将来を見据えた J R 産業のあり方と私たちの働き方」の提言を發しました。J R 産業が持続的に成長して社会を支える役割を果たし続けるためには、大胆な変革が求められるとされています。J R 東日本「変革2027」では、働き方改革での大きな施策が出てきています。未来志向の「職場づくり」「会社づくり」について、J R 東日本・J R 東日本グループに働くすべての仲間がジェイアール・イーストユニオンに結集し、「職場づくり」での変革を創りあげて

いきました。そして J R 連合への総結集を図り、さらに J R グループの結束の強化、労使の信頼関係の充実を、J R 連合と共に築いていきたいと思います。

新年のあいさつ

日本鉄道労働組合 連合会 (J R 連合)

会長 荻山 市朗



新年おめでとうございませう。組合員の皆様の日々の業務への「精励」と献身的な組合活動に対し、心より感謝を申し上げます。

コロナ禍の長期化、深刻化により、J R グループは発足後最悪の経営危機に

陥りました。ワクチン接種が進み、昨年10月以降、ようやく J R のご利用も回復傾向にあります。しかし J R 各社ともにコロナ前の水準には依然遠く、多額の借入金等の拡大もあり、本格復調までは長期戦を覚悟しなければなりません。さらに若年層、中堅層の離職が増加傾向にあり、危機感を高める必要があります。

こうした中、私たちは国鉄改革に並ぶ大きな転換期を迎えているといえます。5月18日に J R 連合結成30周年を迎えます。本年はこの重要な節目にあたり、難局を克服して J R 産業の安定回復へ確かな見通しをつけ、働く仲間の安心を取り戻すために、責任ある運動を進める決意です。

重要課題3点について提起しご挨拶とします。

まず、最優先課題である安全確立についてです。昨年1年間、お客様に関わる重大事故はなかったものの、協力会社の社員7人が、尊い命を落とされるなど、死亡労災、重大労災が後を絶ちません。J R 各社が経営危機にある今こそ、労働組合のチェック機能、提言機能を強化し、「ヒューマンエラーは結果であり原因ではない」との理念に基

づく、職場からの安全確立に全力をあげることとします。

次にコロナ禍への対策についてです。昨年は J R 産業と働く仲間の雇用と生活を守るために、サービスマン連合、航空連合と連携して大臣をはじめ関係各所へ要請活動を繰り返し実施するなど、積極的に取り組み成果を収めてきました。本年も雇用対策をはじめとする支援策や、安心利用の促進、息の長い需要の底支えなどを国に求めていきます。また、離職防止のためにも、2022春季生活闘争を通じ組合員が安心感を回復できるメッセージを伝えることが重要です。J R 7 単組とグループ92 単組がワンチームで臨み、基本給を重視した賃上げとともに、安心して働き続けられる魅力ある J R 産業を築くべく、泊勤務、夜間作業など若手に敬遠される働き方の見直しにも焦点を当て、総合的な生活改善を進めることとします。

最後に、結成30周年を踏まえた中長期的な政策発信等についてです。J R 連合は昨年6月に「将来を見据えた J R 産業のあり方」と私たちの働き方の提言を發しました。ポストコロナ時代に J R 産業が持続的に成長して社会を支える役割を果たし続けるた

めには、大胆な変革が求められると考えます。秋に記念行事を開催し、J R の責任差別として未来志向の政策提言を発信する予定です。そして、J R 産業に働くすべての仲間の J R 連合への総結集、さらに J R グループの結束の強化、労使の信頼関係の充実を訴えます。

職場不安が広がる危機にこそ、労働組合の役割が重要となります。組合員に寄り添いコミュニケーションを強化しなければなりません。組合員の皆様の J R 連合の活動への積極的な参加と協力をお願いし、新年にあたってのご挨拶といたします。

交運共済

災害は避けられない。安心はふやせる。

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済

みんなで暮らしをガード

交運共済 (J R 圏域生協)

全国交通運輸業労働者共済生活協同組合